



全国酸素部会新聞

発行 建交労 全国酸素部会機関紙部
大阪府堺市西区石津西町1 2番



TEL 072-241-6660

メール zenkoku.sanso@gmail.com

HP <http://sansobukai.web.fc2.com>

全国酸素部会第39回総会

12月5日(日)国労大阪会館にて、全国酸素部会第39回総会が開催されました。昨年は新型コロナウイルスの影響により代表幹事だけの総会となりましたが、今回は13支部・分会33名の参加でおこないました。



議長にはテーエス支部から小林さんと江藤運輸分会の挟間さんが選出され総会が始まりました。

はじめに全国酸素部会・相澤部会長より挨拶があり、2年ぶりに全国からなかまを集めて総会を開催できることの喜びと、現在の情勢報告・組織拡大の大切さなどの挨拶がありました。その後、米田前部会長より激励の挨拶をいただきました。

続いて村上より、2022年度一般経過報告として、経済闘争やアンケート、労使共同の取り組み、組織拡大などの総括と到達点、今後のとりくみの報告をおこないました。質疑・討論では大陽液送分会・大田班の長谷川さんから、大陽液送(株)を相手取り係争中の偽装請負裁判の報告があり、来年1月25日と28日におこなわれる裁判についての支援と傍聴要請がありました。

ALJ連絡会と大陽日酸連絡会の報告をはじめ、大陽液送分会・穀谷分会長からの職場報告、新入組合員・上出さんからの自己紹介などがありました。

2022年度は運動方針の具体的展開、組織建設、「トラック政策2021」を前面にした要求・権利闘争と統一闘争の提案をし、総会宣言(案)と共に採択されました。

第39期役員には新しく副部会長としてテーエス支部の結城さん、イワサワ分会の渡部さんが選任され、閉会の挨拶では第38期で副部会長を務めていただいた金川産業分会の岡部さんから「定年を迎えるにあたって、労働組合を作り運輸一般に加盟してからのこれまでの生活、今の生活ができてるのは建交労のおかげです。本当に労働組合を立ち上げて良かった。」と労働組合への感謝の言葉とともに重要性を話され、最後にガンバロー三唱で総会を締めくくっていただきました。

まだまだ勉強不足ではありますが、これから相澤部会長を筆頭に役員みんなで力を合わせ頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

全国酸素部会 事務局長 村上吉樹



メールアドレスが変更になります

全国酸素部会のメールアドレスが変更になります。

これまで使用していたctg.sansobukai@ybb.ne.jpから下記のzenkoku.sanso@gmail.comへの変更をお願いいたします。

不明な点ありましたら事務局長の村上までご連絡お願い致します。

zenkoku.sanso@gmail.com

ALJ連絡会・交流会

2021年12月4日(土)テーエス、イワサワ、マルエスより7名が出席し、第14回連絡会総会が行われました。コロナ禍で緊急事態宣言の影響もあり、2年ぶりの開催となりました。総会では、産業ガス業界の歴史、今年度第一四半期の各ガス別需要の動向などについて学習し、各輸送会社の現状報告をおこない、今年度の具体的方針を確立しました。



ALJ連絡会は、エア・リキード関連で働く労働者の就労環境改善を目指してこの間とりくみをすすめてきました。そのためには会員の拡大は急務の課題です。

同関連で働く全ての労働者を視野にいたれとりくみをすすめていくことが求められます、会員拡大につながるように頑張っていきます。

総会後に行われた交流会では、2年ぶりの再会と言うこともあり、大いに語らい親交を深めました。

テーエス支部尼崎分会 木田英樹

大陽日酸連絡会

12月4日(土)国労大阪会館にて第33回大陽日酸連絡会が開催され、大陽日酸を荷主とする運送会社に所属する組合員が全国から9職場15名集まりました。

連絡会の中では各職場の現状報告や問題点とその対策、年末一時金の状況や客先時間指定の問題等、様々な内容での議論、情報交換が展開されました。

今回、コロナウィルスの影響もあり2年ぶりの開催となりましたが、皆で集まり交流し、意見・情報交換する事。このような事ができる場が本当に大事なんだなと感じられる、貴重な会となりました。



江藤運輸分会 村上博昭

大陽日酸交流会

12月4日大阪の国労会館にて大陽日酸連絡会がおこなわれ、その後に天満のすし半で交流会が開かれました。連絡会参加の15名と寿から5名が合流して、20名での交流会となりました。

鍋料理での宴会にしたいところでしたがコロナ禍と言うことで感染対策の為会席料理になりました。

相澤部会長の挨拶で始まり、料理もお酒も進み2時間の予定を店のご厚意で3時間滞在させて頂き、楽しい有意義な時間を過ごす事が出来ました。その後は帰る人や飲みに行く人など各自自由に過ごしていました。遠いところから参加されたみなさんお疲れ様でした。

寿運送分会 分会長 吉川学



九州液送分会定期総会

11月13日(土)に定期総会をおこないました。本年度より、新たに全国酸素部会に3名加わり、計6名となりました事を報告しておきます。

コロナ対策、勤務状況等で全員揃うのが厳しい現状の中、グループLINEを活用し、日々の報告、意見交換等を行なっています。

今回の定期総会では、コロナ対策を軸に話し合い、細かな問題点を改善しようと、意見交換をし、盛り上がりました。最後に来年度も優良事業所を目標に、頑張ろう！で閉会しました。

6名になりましたが、まだまだ至らない部分もあるかと思います。皆様のご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

九州液送分会 分会長 神元薫一



全国トラック部会第23会総会

建交労全国トラック部会第23会総会が群馬県ホテル磯部ガーデンにて開催され参加してまいりました。前日の昼からこの日の10時30分まで春闘中央討論集会在開催され、引き続いての開催となりました。

始めに津村副部会長の開会挨拶から始まり、足立部会長の挨拶では、「要求をしっかりと掴むという事が一番大事であり、安定安心して働けるトラック職場をどう作るのかがトラック部会としての責務」と呼びかけました。そして中央本部角田委員長の挨拶を経て、鈴木事務局長による2021年度経過報告があり、2022年度方針案としてトラック部会の重点、改善基準告示の見直しにあたり、自動車運転者の労働時間改善実現、全国一律最賃制と大幅引き上げ、トラック職場における長時間労働の原因と背景を踏まえ、各組織は労働時間短縮に向けた要求を掲げた職場闘争強化などの活動方針が出されました。新トラック政策予備提案として、トラック運輸産業における長時間労働の是正、改善基準告知の見直しなど、安全安心なトラック運輸産業を目指す取り組みを進めていく提案がなされました。討論では全国の仲間



たち17名の熱心な発言があり、幹事の鷹巣さんの発言の中で酸素職場での南大阪の活動報告や、私の職場、大田貨物の長時間労働、低賃金問題、不誠実団交、偽装請負裁判についても触れていただきました。私たちも早期解決を目指し奮闘していきたいと思ひます。

2022年度方針案、新トラック政策予備提案など全会一致で賛成され、そしてこの1年運動の先頭に立つ役員が紹介され最後に足立部会長の団結頑張りうで締めくり閉会となりました。

大陽液送分会大田貨物班 長谷川 達三

2022年春闘討論集会

建交労2022年春闘討論集会在11月27日～28日に群馬県磯部ガーデンで開催されました。全体参加は108名。酸素職場からは大陽液送、大田貨物運送、SEE物流、寿運送、各1名の計4名が参加しました。

主催者の角田委員長の挨拶では「ジェンダー平等・同一労働同一賃金・自給1500円」この3つの柱を中心に春闘に向け、たたかう事を呼びかけました。

続いて、廣瀬書記長から2022年春闘方針第一時案・春闘統一要求基準を提案されました。そして、学習会では全労連の黒澤事務局長をお招き頂き「日本の賃金はなぜ上がらないか？」をテーマに各グループで議論しました。各グループでの発表では労働組合の弱体化、非正規雇用の拡大化、内部留保を出さない等の意見が出され、黒澤事務局長は「春闘に向け労働組合が力をつける事だ」と力強く述べられました。

全体討論になると、リモート参加含め21名の発言があり、身近な問題では大田貨物運送長谷川班長が発言をされ、大陽日酸の子会社で高压ガス輸送の配車業務を行う大陽液送が、その配送業務下請けの大田貨物運送の運転手に対して直接指示を出すなど、偽装請負をしたとして大陽液送を相手取り2020年3月16日に「直接雇用・賃金格差是正を求め」大阪地裁堺支部に提訴しました。「同じ仕事をしてるのに大陽液送の社員と賃金になぜこんなに差があるのか」と疑問を感じていました。組合結成後は、大陽液送からの配車で配車差別、無理な配送指示もありますが、大田貨物の配車では変更ができず大陽液送の配車指示に従っています。令和4年1月25日の裁判で証人尋問が始まります。この裁判で勝つ事が出来れば日本の輸送業界に大きな影響力があると期待されます。

今回、春闘討論集会上に参加し要求実現に向けコロナ禍だった前年度と同じ要求に対して、たとえ一歩でも進む粘り強さ、そして、団結力を職場集会上で再確認し春闘に向け良い準備をしていきます。

寿運送分会 長谷川慎治

